

第15回 道徳教育合同研修会

テーマ：新しい「道徳科」への準備
～道徳授業の発問を変え、授業を変える～

道徳教育合同研修会は、道徳教育の実践研究に自主的に取り組む団体が協力して、全国的な共同・連携を考えるとともに、次世代のリーダーの育成を目指して実施するものです。

（全体テーマ：～道徳授業の発問を変え、授業を変える～）

発問は、「発問によって子どもに思考と発見を迫りつつ、そのことを通してやがて彼らが自問できるようにすることを目指す」（『新教育学大事典』より）と言われます。道徳授業においても、資料理解・内容項目理解・ねらい・主題設定・児童生徒の実態の把握等、構成要素を組み立てながら設定される教師の「発問」が、子どもに思考を促し、展開される授業の成否の鍵を握るものと考えます。

今回の研修会では、深く本質を追求する発問の在り方を考え合い、「考え、議論する道徳」への質的転換が求められている道徳科の姿を討議して参ります。

日時 10月22日(日) 9:30～15:30

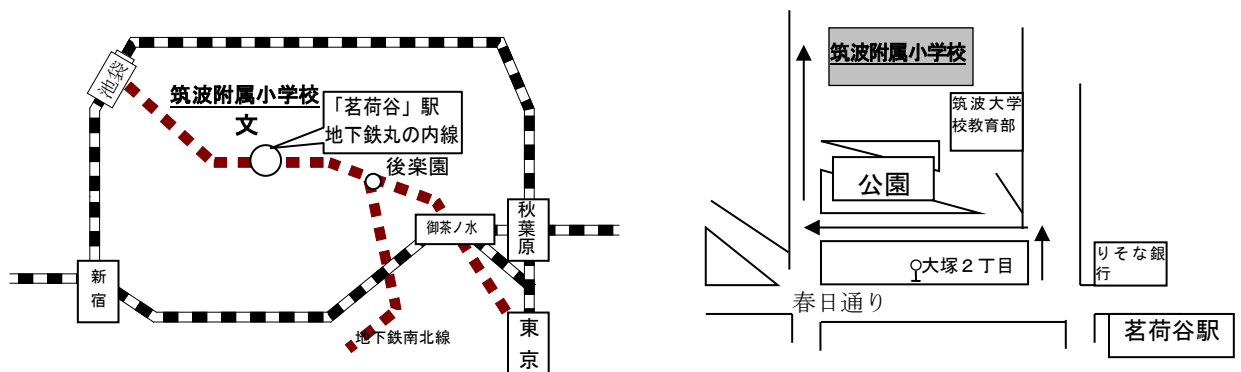
場所 筑波大学附属小学校 講堂 (東京都文京区大塚3-29-1)

参加費 1,000円 (資料代として)

プログラム：全体テーマ—道徳授業の発問を変え、授業を変える—

9:00	受付開始		
9:30	公開授業	授業者	加藤 宣行 (筑波大学附属小学校) 筑波大学附属小学校児童 (4年生) 参加
10:25	開会		
10:30	模擬授業	授業者	根本 哲弥 (神奈川県横須賀市立神明小学校教諭)
11:10	休憩		
11:15	授業協議	進行	
		授業者	加藤 宣行 (筑波大学附属小学校)
		〃	根本 哲弥 (神奈川県横須賀市立神明小学校教諭)
		助言者	毛内 嘉威 (秋田公立美術大学教授)
12:15	昼食		
13:15	研究発表	発表者	加藤八千代 (埼玉県さいたま市立原山小学校教諭)
		発表者	堀井 綾子 (秋田市立御所野小学校教諭)
			テーマ「子ども自身が問題意識をもって、仲間と語り合い、 考えを深めていく道徳の時間を目指して」
14:15	休憩		
14:25	シンポジウム「深く考える発問とは」		
		コーディネーター	加藤 宣行 (筑波大学附属小学校)
		シンポジスト	竹井 秀文 (愛知県名古屋市立下志段味小学校教諭)
		〃	岡田 千穂 (群馬県前橋市立大胡中学校教諭)
		〃	早川 裕隆 (上越教育大学教授)
15:25	閉会		
15:30	終了		

○会場案内： 最寄り駅「茗荷谷駅」（地下鉄丸の内線）



第15回 道徳教育合同研修会 参加申込票

申込み先 「公益財団法人上廣倫理財団事務局」担当 上田 博次 まで

〒102-0075 東京都千代田区三番町6番地3

Tel 03-3261-8711 Fax 03-3261-8747 E-mail ueda@rinri.or.jp

案内 ホームページ <http://rinri.or.jp>

○ 定員 (200名程度予定)

申込み日 平成 年 月 日

ふりがな		ふりがな	
氏名		ご所属	
連絡先	〒 (ご自宅・勤務先 ○でお囲み下さい)		
	tel.	Fax.	
	E-mail		
昼食 弁当代	注文する ・ 注文しない (値段 1000円予定 : ○でお囲みください)		
質問・要望 等ございましたら ご記入ください			

道徳教育合同研修会のご案内

道徳教育合同研修会は、道徳教育の実践研究に自主的に取り組む下記の団体が協力して、全国的な共同・連携を考えるとともに、次世代の育成を目指して実施するものです。

現在の活動は、年3回のペースで東京及び地方で、研修会を開催しております。

(第1回目：6月～7月上旬、第2回目：10月から11月、第3回目：1月)

合同研修会では、全国様々な実践研究が紹介されるとともに、団体ごとの提案を全体で協議することによって、多角的に道徳教育・道徳授業を学ぶことが出来ます。

合同研修会では、全国より自主的な研究会を組織する参加団体を募集しております。ご関心のあられます方また参加をご希望の方は、担当までご連絡下さい。(参加団体には研修の案内や旅費の補助などが受けられます)

◎道徳教育合同研修会・参加団体

はこだて道徳ラボ

函館市の小・中学校教員を中心としたメンバー構成で、年6回程度の研修会を実施し、道徳の授業づくりや指導方法等についての悩みを共有するとともに、その解消に向けた意見交流等を行っている。

紹介 田中 登 (函館市教育委員会学校教育部指導課)

青森県(津軽地区)道徳教育研究会

津軽地区(弘前市)を中心にして会員20名ほどで道徳教育研究会を結成して活動している。事務局を弘前大学教育学部附属小学校に置き、月1回程度集まって道徳授業の悩みや指導案検討会などをやっている。附属小などの公開授業の前後は毎週集まり活動している。

紹介 毛内 嘉威 (前青森県 総合教育センター指導主事)

教育研究団体「道徳のチカラ」

『とっておきの道徳授業』シリーズ(日本標準)現在、小学校14巻、中学校12巻
機関誌『道徳のチカラ』年に4回発刊、各地でのイベント開催
HPの運営・・・「道徳のチカラ」で検索してください。

紹介 佐藤 幸司 (道徳のチカラ代表)

福島道徳教育セミナー(FMS)

月1回の研修会では、教材解釈、実践報告、最新の道徳教育の情報提供、研究発表などを行っています。郡山市の若手を中心に道徳の基礎基本を共に学び合い、明日からの実践に生かすことができる研究会にしていきます。

紹介 櫻井 宏尚 (FMS代表、郡山市立行健小学校教諭)

千葉県道徳教育授業力アップ研修会

千葉県、とりわけ柏市を中心に東葛飾地方の若手教員を中心に道徳の時間の基礎基本を教え、今後の道徳教育の発展に向けて、切磋琢磨することのできる機会を設ける。

紹介 大館 昭彦 (千葉県教育庁東葛飾教育事務所主席指導主事)

大阪道徳教育セミナー

月1回の研修会(研究発表、実践報告、ブックトーク、ケーススタディ等)年1回の合宿(他の研究会との合同研修会)、研究発表会。道徳教育に関心のある若手を対象に研修を深める。

紹介 服部 敬一 (大阪市立豊仁小学校校長)

石川県道德教育研究協議会（IMA）

統合的道德授業プログラムの実践研究を続けて四半世紀が過ぎました。一つの内容項目に、続けて複数時間の道德授業をプログラムする意義と効果を、今後も授業実践を通して訴えていきます。

紹介 田村 博久（石川県白山市立朝日小学校校長）

「学校と道德教育」（SAME）研究会

年に2回（8月と秋から冬の間に1回）実施している。8月は、模擬授業や実践報告及び研究協議を行い、その後、テーマを決めてシンポジウムを行なっている。2回目（秋 or 冬）はSAME会員の所属校の研究会の参加を研修会としている。

紹介 櫻 恵子（広島県前呉市立三津口小学校校長）

やまぐち道德教育サークル

平成29年度に山口県で開催する全小道の全国大会（会場校：周南市立德山小学校、岐山小学校）に向けて活動している。改正学習指導要領を中心に、幅広く様々な指導方法について学びたいと考えている。

紹介 坂本 哲彦（山口県宇部市立東岐波小学校校長）

長崎県道德教育研究会研究班

道德教育、とりわけ道德授業に関心が高い教員を県下から募集し、現在16名の班員で活動している。道德の授業力向上を目指して、授業作りの研修を中心に、公開授業を含め、年間8～10回程度の研修会を実施している。

紹介 山田 典昭（長崎県長崎市立川平小学校校長）

沖縄県道德教育フォーラム

琉球大学教育学部が実施主体となった「21世紀沖縄子ども教育フォーラム」の申請プロジェクトのひとつとして、本研究団体の活動がスタート。事業自体は、平成22年度で終了した。その後は研究団体名とメンバーを継続し、理論と実践の融合、効果的な授業実践の展開、地域内連携ネットワークの構築などをめざして活動を展開。

紹介 天願 直光（沖縄県教育庁義務教育課）

KTO道德授業研究会

子どもたちが前のめりになって話し合い、授業が終わっても考え続ける道德学習スタイルを求めて、2011年に立ち上げた実践研究主体の研究会。道德授業のK（壁）をT（扉）に変えてO（オープン）することを合い言葉に、年2回の公開研、月1回の定例会を基本として活動しています。

加藤 宣行（東京 筑波大学附属小学校）

愛知子どもと楽しむ道德授業研究会

本年度、愛知県丹波地区の道德授業に関心のある教員で発足した。月1回土曜日午後には指導案検討や実践紹介、授業研究などを行っている。会員は20代から60代まで23名。

2016年10月には、心の教育研究会と共催で道德授業研修講座を開催した。

紹介 松野 卓郎（愛知県大口町立大口南小学校）

とちぎ道德教育実践学会

栃木県内において道德教育を研究する教員等で組織する学会で、平成25年に立ち上げました。学会の会長は作新学院大学学長の渡邊弘先生で、同大学で年2回、講演会や実践発表、パネルディスカッションなどを行っています。現在、会員は60名程度です。

紹介 生田 敦（栃木県宇都宮市立上戸祭小学校校長）